

環境方針

当社は三菱電機グループ企業として、当社の製品である「鉄道車両用・配電用・電力用」の社会インフラ機器製品の製造と社会への提供を通じて「持続可能な地球環境」と「安心・安全・快適な社会」の実現を目指します。「気候変動対策」や「循環型社会の形成」等のさまざまな環境問題の解決に向けて当社が取り組むべき最重要課題の一つと位置づけます。また、従業員やその家族、地域社会とともに環境意識を育み、社会貢献活動の輪を広げていきます。そして、社会規範や法令を遵守しながら、社会変化への鋭敏な感性を持って継続的に環境に配慮し事業活動を推進します。

この環境方針を全従業員に周知するとともに、社外に公開します。

= 環境貢献活動への取り組み =

1.環境法規・条例の遵守

法は最低限の社会規範であり、法の遵守のみならず社会規範に対する感性を鋭くして、常に環境保全に取り組む企業としての品格を忘れずに、事業活動と従業員行動を実践します。

2.環境事故のリスク排除

環境汚染の発生はあってはならないことです。製品に使用する材料や、製造工程に必要な材料の環境安全性を正しく把握し、確実なリスク対策を推進します。また、製造過程での環境汚染物質の生成・排出を防ぐべく、各々が環境に与える影響を正しく把握し、確実なリスク対策を推進します。

3.環境マネジメントの推進

当社の環境マネジメントシステムを維持・向上させるため、環境貢献活動のPDCA サイクルが継続的にまわる組織体制と仕組みを整備し、確実に運用します。

4.環境意識風土の醸成と地域社会との共生

環境月間行事や社内報等を通じた社内への啓発や、環境教育・研修等を通じて、全従業員の環境意識を継続的に育みます。また、当社の立地は、学校や住宅が近いことから、地域との良好なコミュニケーションに努め、自然共生活動を通じて地域社会に貢献します。

= 環境目的・行動目標 =

<目的>	<行動目標>
(1)環境法令・条例遵守	:環境法令違反・重大事故発生防止とリスクの排除
(2)気候変動対策への貢献 【温室効果ガスの排出抑制】	:CO ₂ 排出量(生産時および製品使用時)の継続的な削減
(3)生物多様性保全への貢献 【地域共生】	:自然を大切にする活動推進 (環境美化活動 他)
(4)環境活動を通じた経営貢献	:動力費用率[売上高原単位]の抑制 (省エネ・節電の意識づけ等)

2024年4月1日制定

三菱電機社会インフラ機器株式会社

取締役社長 **東村 充章**